

(1) 病床使用状況 (令和3年1月21日時点)

全県	確保病床数	
	全入院者	うち重症者
使用率	58.7%	42.1%
実績 (使用病床数)	132床	8床
母数 (確保病床数)	225床	19床

(2) 病床確保に関する課題

- 重症病床の確保
 - 対応できる医療機関に限られる
 - 治療が長期化する
- マンパワー (看護師等) の確保
 - 患者状態によって多くの人員を要する
 - 通常医療 (救急等) への影響
- 後方医療機関 (転院先) の協力
 - 国の退院基準の周知等が必要

(3) 確保に向けた具体的な取組み

- ① 入院受入医療機関に更なる増床を要請
- ② 上記以外の医療機関に入院受入を要請
- ③ 後方医療機関としての意向調査を実施
- ④ 看護師応援派遣の事業スキームを構築
- ⑤ 広域での受入調整方法の確認

※入院受入医療機関に対する主な支援メニュー

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策事業
 - 入院受入のための病床確保料等に対する補助
- (2) 入院受入医療機関緊急支援事業
 - 受入体制強化 (人件費等) に対する補助
- (3) 医療従事者支援金
 - 入院治療に直接携わる医療従事者へ支援金を支給
- (4) 設備整備事業
 - 入院対応に必要な資機材整備に対する補助